



～体験しよう！桜井の古墳ワールド！～

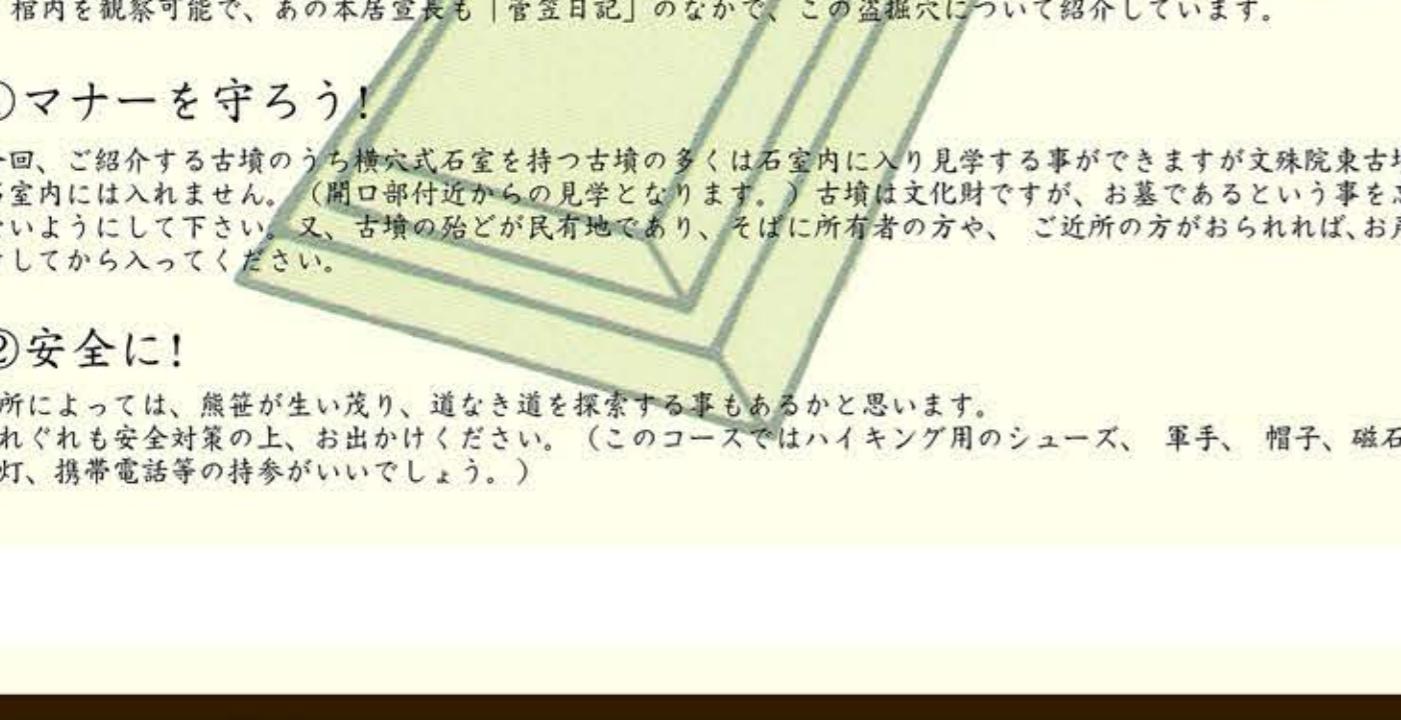
桜井市市街地の東南部に広がる山々を見せる標高245mの鳥見山周辺には、初期ヤマト王族の大墓の可能性のある桜井茶臼山古墳やメスリ山古墳があります。全長200m級の前方後円墳では数少ない墳丘内に入れる古墳で、その大きさを実感することができます。

また桜井市は横穴式石室の宝庫で、終末期古墳を代表する「文殊院西古墳」(国特別史跡)をはじめ、当地と宇陀に集中して築かれた磚積式(せんずみしき)の石室を持つ「舞谷2号墳」、奈良県内でも珍しい二つの石室を持つ「こうぜ1号墳」など特徴的な古墳が点在しています。

尚、このコースでは多くの石室の中に入れて見学出来るのも魅力です。古代のタイムカプセルともいいくべき古墳の数々をこの機会に体験いただければ幸いです。

編集・発行：一般社団法人 桜井市観光協会

モデルコース（全行程約10km）



・桜井駅を起点に、およそ10kmのコースです（詳細はマップをご覧ください）。・雨天時や足元の悪いときは「こうぜ1号墳」は見学できません。

・◎印のついている古墳は、石室の見学時、携中電灯が必要です。

古墳探訪・・その前に

日本のはじまりの地。桜井市には、女王卑弥呼の墓ではないかと言われる若狭古墳をはじめ、大和王族発祥の地に相応しい古墳が数多く残ります。どのような桜井の古墳について紹介するか、桜井駅から気軽に探求できる鳥見山周辺古墳のうち、特にお薦めの8基の古墳について紹介いたします。鳥見山(標高245m)は山頂を中心とした複数の尾根が放射線状に広がり、それぞれの尾根の先端に多くの古墳が点在します。石室構造など尾根単位での独自性が見えてくるので、地域の方々を考える上で非常に興味深い地域です。ではコース順に各古墳の特徴と見所をご紹介します。

① 桜井茶臼山古墳・・・200m級の墳丘を持つ前方後円墳の多くは石室に入り見学する事ができますが文殊院東古墳は石室内には入れません。

② 舞谷2号墳・・・横穴式石室から玄室へと十数段の階段で構成された全国でも珍しい茶臼山古墳によく知られています。調査は1984年～1985年にわたり奈良公古墳群は舞谷2号墳で133室の室をどうぞとされるべきです。

③ こうぜ1号墳・・・複数の石室を持つ前方後円墳で、境内に7基あります。大和の3基しかない珍しい石室構造を持つ古墳です。2基の石室が隣接して築かれ、両石室とも結構狭いですが内部に入ることができます。

④ 秋殿南古墳・・・岩屋山武石室と共に通る長い大型古墳です。

⑤ 谷首古墳・・・古墳古谷と似た石室構造の巨石古墳です。玄室の左側の側室の目地の模様彫や天井石にも注目ください。

⑥ 文殊院西古墳・・・国の特別史跡。終末期古墳を代表する古墳です。玄室の左側の側室の目地の模様彫や天井石にも注目ください。

⑦ 文殊院東古墳・・・玄室中央に井戸があり、この水を使って冒手をする上達があるといいます。石室は盗掘されていますが、その盗掘穴から石室に観察可能で、あの本居宣長も『管笠日記』のなかで、この盗掘穴について紹介しています。

⑧ 神墓古墳・・・兵庫県の龜山石室が大きな石棺が残っています。石棺は盗掘されていますが、その盗掘穴から石室に観察可能で、あの本居宣長も『管笠日記』のなかで、この盗掘穴について紹介しています。

①マナーを守ろう！

今朝、ご紹介する古墳のうち横穴式石室を持つ古墳の多くは石室内に入り見学する事ができますが文殊院東古墳は石室内には入れません。

②安全に！

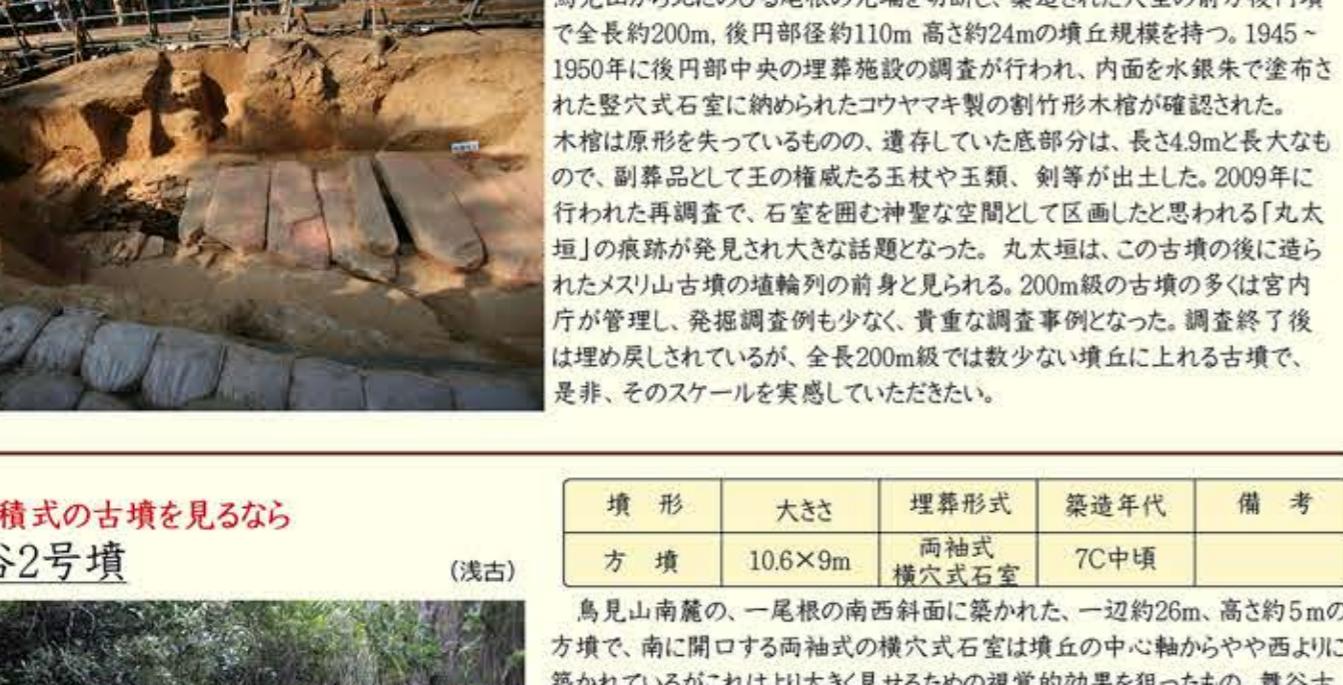
場所によっては、熊笹が生い茂り、道なき道を探索する事もあるかと思います。

くれぐれも安全対策の上、お出かけください。（このコースではハイキング用のシューズ、軍手、帽子、礎石、携中電灯、携帯電話等の持参がいいでしょう。）

鳥見山周辺古墳マップ



古墳探訪ガイド(1)



① 洗漱室の手前の川沿いの細道を、マップを参考に桜井茶臼山古墳の方向に進みます。

② 細かい曲がり角を進むと、「諸川通行止め」の看板があり左の道に進みます。

③ 通りに縁や小さな坂道を下り、右側の細い道に進みます。

④ この細い道を通り抜けると桜井茶臼山古墳の後円部を見ることができます。

⑤ このコースの切符から石室の奥部に上がり、説明板を通り過ぎ時計回りに括れ部を目指します。

⑥ 括れ部近くになると、石室の奥部に進むと、ここから括れ部内に入ります。

⑦ 左手に30m前後進むと、わからにくいつが、括れ部への入り口があります。

⑧ 中からある石室を上り、括れ部の上まで進みます。向って左は前方部、右は後円部となります。

途中からある石室を上り、括れ部の上まで進みます。向って左は前方部、右は後円部となります。

① 舞谷2号墳へはこの白い階段が目印となります。

② 約60mの階段を上りると、ほぼ一本道で行けます。

③ 季節によっては、わかり難いと思いますが写真のような道なき道を前進ください。

④ 階段から60m位で舞谷2号墳の開口部が姿を現します。

① 秋殿南古墳



① 桜井中学校前の交差点を、右に曲がります。

② 鳥見山の山腹に向って歩き、突き当りの手前を横断歩道に左に曲がります。

③ 丘陵の中の古墳の奥部に入ります。この丘陵の上に「こうぜ古墳」があります。

④ 丘陵に入ると直ぐ、写真のような細くて急な上り坂があります。

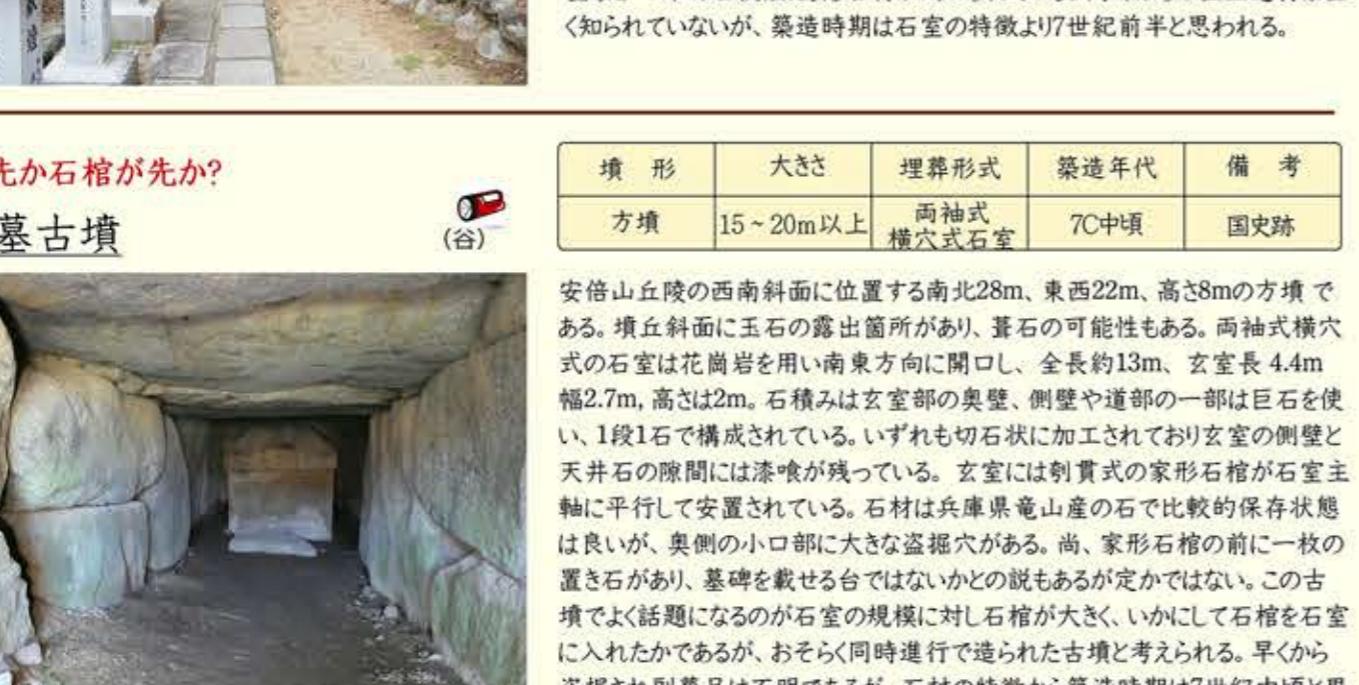
⑤ 上りると比較的平地な道があり、大きな木を避け過ぎる、倒木が道を遮っています。ここから、矢印のように直上近くまで登ります。東石室の開口部が見えています。

⑥ 直上近くに、こうぜ1号墳の石室の開口部が見えています。

⑦ 石室は、ほとんど比較的簡単な道筋で、西に向って進むと西石室が見えできます。

⑧ これが西石室の開口部です。（東石室に比べ探しにいかないと思います）

② 舞谷2号墳



① 前方後円墳に2基の石室を持つ

③ こうぜ1号墳（東石室）

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

① 桜井茶臼山古墳

② 秋殿南古墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳

⑤ 谷首古墳

⑥ 文殊院東古墳

⑦ 文殊院西古墳

⑧ 神墓古墳

① 桜井駅南口

② 舞谷2号墳

③ こうぜ1号墳

④ 舞谷2号墳